第7号様式

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	第二偕楽園ホーム	施設番号	16929000799

項目	前年度の評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和3年4月30日時点)
学びのスタイルの定着 について	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、外部研修への参加機会が減少したが、内部研修は実施方法を変更しながら継続している。集合形式ではなく動画視聴形式を導入し、レポートもその場で記載して提出する等隙間時間を活用した形式きすきにしている。今回の感染症拡大により、職員には学んでおかなければ行けないという危機感が生まれた。研修への参加意識が高まっている。今こそがさらなるスキルアップの好機ととらえ、感染症だけでなく様々な介護技術を伝授する研修も準備して新しい学びのスタイルを定着させたい。	学ぶことで自身のモチベーションを上げて業務に反映させることができるような研修の形を定着させる。そのために少人数でも多様な時間帯　日時を設け研修を受けることができるよう配慮した。研修履修状況を見える化して各部署に示すことで、自分から研修を受けようとする能動的な動きを定着させる。	1　実施済み 2　実施予定(令和　　年　　月ごろ) 具体的には以下のとおりです。
個別支援の充実について	看取り介護認知症ケア利用者のその人らしさを大切にする。個別支援などの充実したケアに継続して取り組んでいきたい。法人の実績ノウハウを生かして看取り介護認知症ケアに取り組んでいる。看取り介護は指針を定めて利用者家族の希望を確認した。個別ケアを看護師がユニット職員に助言した。最後まで快適に過ごせるよう支援している。認知症を含めた全利用者が落ち着いて過ごせるよう認知症ケア向上委員会をおいている。散歩日光浴動物との触れ合いなどを行い、。心の安定を図れるようにしている。ユニットの家庭的な環境を生かした個別支援の充実は今後も引き続き継続していきたいと考えている。	個別支援の充実を図り、その人の状況に応じた対応を行うことができるよう各部署との連携をはかり専門職からの助言を活かし対応していく土壌を熟成させていく	1　実施済み 2　実施予定(平成　　年　　月ごろ) 具体的には以下のとおりです。
業務の効率化 について	業務の分散作業時間の確保業務の効率化に向けて取り組みたい。ユニット会議や各委員会で提供している支援内容等について職員から意見意向収集検討して支援に反映させ、業務の標準化に取り組んでいる。今後はさらに業務の分散や作業時間の確保業務の効率化を図りたい意向を持っている。	地域密着型特別養護老人ホームの業務を互いに連携し利用者サービスを問題なく提供するために、限られた人員をどのように活かしてくか助け合うかがカギとなる。引き続き、業務の効率化を図り、業務の分散及び作業時間を確保する	1　実施済み 2　実施予定(令和　　年　　月ごろ) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和3年(2021年)度八王子市地域密着型特別養護老人ホーム運営費補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、八王子市のホームページでも閲覧できます。